

熊本市 感染症発生動向調査 速報



●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が3週連続増えています

●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

発熱・のどの痛み・イチゴのような舌(写真参照)が主な症状です。早めに治療を受けましょう。

◆どんな病気？

球型の、赤血球を壊す(溶血)毒素をもつ細菌による感染症のひとつで、主に学童期に多く、3歳以下の乳幼児や大人には比較的少ない病気です。

- ・症状……突然の発熱とだるさ、のどの痛みで発症し、イチゴのような舌が特徴です。嘔吐を伴うこともあります。細菌の毒素により「猩紅熱」に進行すると、点状紅斑や日焼け様の皮疹が全身に広がります。合併症には、リウマチ熱や糸球体腎炎などがあります。
- ・潜伏期間…2～5日
- ・感染経路…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによる飛沫感染、細菌が付いた手を介する接触感染です。主にヒトとヒトとの接触で感染しやすく、家庭や学校での感染も多いです。兄弟間の感染率は25%とも言われます。
- ・流行期……冬季、および春～初夏に2つの流行ピークがあります。



国立感染症研究所感染症情報センター「感染症の話」より抜粋

◆かかったらどうすればいいの？

- ・抗菌剤による治療を行います。症状が改善しても、お薬は決められた期間きちんと飲みましょう。
- ・のどの痛みがひどい場合は、食事は柔らかく薄味にするなど工夫しましょう。水分補給を心がけましょう。

◆予防法は？

- ・症状のある人との密接な接触を避けることがとても大切です。手洗い、うがいもしっかりおこないましょう。

期 間		平成29年 第16週		平成29年 第17週	
		4/17～4/23		4/24～4/30(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		73	2.92	67	2.68
RSウイルス感染症		0	0.00	1	0.06
咽頭結膜熱(プール熱)		11	0.69	6	0.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		36	2.25	48	3.00
感染性胃腸炎		83	5.19	91	5.69
水痘(みずぼうそう)		8	0.50	4	0.25
手足口病		35	2.19	37	2.31
伝染性紅斑(りんご病)		3	0.19	3	0.19
突発性発しん		9	0.56	7	0.44
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		8	0.50	7	0.44
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		14	2.80	9	1.80
細菌性髄膜炎		1	0.20	4	0.80
無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		10	2.00	13	2.60